



すべての労働者の立場にたって
働き方を見直そう！
「底上げ・底支え」「格差是正」で
クラシノソコアゲ！



れんごう島根

No.130

2018.2.5

日本労働組合総連合会
島根県連合会（連合島根）

〒690-0007 松江市御手船場町557-7（労働会館内）
TEL (0852) 21-8105 / FAX (0852) 23-4105
E-mail : info@shimane.jtuc-rengo.jp
ホームページ http://ws1.jtuc-rengo.or.jp/shimane
発行人／仲田 敏幸

連合島根第55回地方委員会

～連合島根2018春季生活闘争方針を決定～

すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう！
「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノソコアゲ！

連合島根第55回地方委員会



仲田連合島根会長



仲田連合島根会長のガンバロー三唱

【2018連合島根春季生活闘争方針】

- ①すべての組合は、月例賃金にこだわる闘いを進めることとし、定昇・賃金カーブ維持相当分（約2%）を確保し、「底上げ・底支え」「格差是正」分などとして、2%（合計4%）を賃上げ要求基準とする！
- ②「『賃上げ』をはじめとする労働条件の引き上げ」「非正規労働者の労働条件改善」「職場における男女平等の実現」「ワークライフバランス社会の実現（時短など）」「ワークルールの取り組み」「政策・制度実現」に向けて2018春季生活闘争に取り組んでいく。

※「春季生活闘争方針」は連合島根HPに掲載しています



1月18日（木）に松江市のホテル白鳥にて第55回地方委員会を開催し、2018春季生活闘争の方針を決定しました。冒頭仲田会長より、「月例賃金の向上、すべての働く仲間の『格差是正』、ワークライフバランス社会の実現に向けての総実労働時間の縮減に向けた取り組みを地域・職域で展開し、島根に働くすべての労働者の処遇改善を目指す。特に働く人の命に関わる長時間労働に歯止めをかける」と挨拶がありました。

連合島根2018～2019年 政策・制度要求と提言

2018年1月29日 知事への政策・制度要求を実施しました。

2年ごとに実施している「政策・制度 要求と提言」を1月29日に県知事あて提出しました。昨年より連合島根は政策・制度委員会で各構成組織からの意見をもとに議論を重ね、6分野36項目からなる要求書をまとめました。雇用労働分野をはじめ人口減対策、地域福祉など島根における地域課題は山積しています。

要求書に対する回答は2月28日を予定していますが、2月定例県議会における連合推薦議員との連携した取り組みや、県からの回答書を踏まえた各部局交渉などを実施し、連合の目指す政策・制度の実現を目指します。

※「連合島根2018～2019政策・制度 要求と提言」は連合島根HPに掲載しています。



仲田会長より
藤原副知事へ
要求書を手交



6分野36項目について
意見交換を実施

青年委員会リーダー（活動家）研修会・第26回代表者会議



リーダー研修会（講演）



青年委員会代表者会議

12月23日（土）に連合島根青年委員会「リーダー研修会」及び「第26回代表者会議」を開催し、40名が出席しました。研修会では、島根大学教育学部教授 稲垣卓司氏を講師に迎え、「LGBTの理解 ～性別違和感のある方への対応～」と題した講演をいただき、参加者全員でLGBTについて学びました。代表者会議では、2018年度活動方針と新たに大谷剛史郎氏を委員長とする新役員体制を確認しました。

女性委員会第25回定期総会を開催

1月27日（土）に連合島根女性委員会第25回定期総会を開催し、50名が出席しました。総会では2017年度活動報告の後、2018年度活動方針及び2018年度役員体制を確認しました。また総会終了後、「障がいを知り、共に生きる」と題し杉原みこ氏（出雲市健康福祉部福祉推進課係長）、「いつまでも健康で生き活きと働き続けるために」と題し戸田稔子氏（松江生協病院女性診療科部長）を講師に迎えてセミナーを開催しました。



女性委員会総会

<2018年度連合島根女性委員会役員体制>

役職名	氏名	構成組織名	再・新
委員長	島田 ひとみ	自治労	新
副委員長	—	電機連合	
	安達 幸恵	電力総連	再
事務局長	藤岡 理恵	JP労組	新
事務局次長	大津 初美	JAM	再
	東野 直子	UAゼンセン	再
幹事	宇山 敦子	島根県 JAユニオン	新
	竹下加奈子	交通労連	新
	諏訪 春香	全労金	再
	石川 絵美	高教組	再